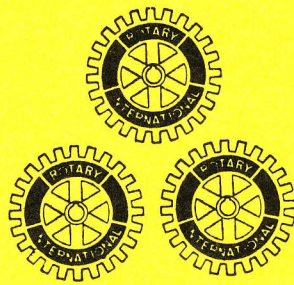


1980～1981年度

クラブ活動計画書



昭和55年 7 月

R. I. 第259区

大和中ロータリークラブ

会 長 亀 谷 志 郎

幹 事 富 沢 重 徳

1980～81年度

クラブ活動計画書

昭和55年7月

1980～81年度

ロルフ J. クラリッヒ

R. I. 会長テーマ

TAKE TIME TO SERVE

時間を捧げよう

奉仕の

ために

大和中ロータリークラブ亀谷会長テーマ

全人類に愛と善意を

大和中ロータリークラブ

会長 亀谷 志郎
幹事 富沢 重徳

事務所 大和市商工会館内
例会場 電話 (63) 7926

クラブ活動計画書

目 次

本年度の運営方針	3
会 務 報 告	5
大 和 市 略 図	8
会 計	9
委 員 会 報 告	
クラブ奉仕委員会	11
出 席 委 員 会	12
職 業 分 類 委 員 会	13
職業分類一覧表	14
クラブ会報委員会	17
親 睦 活 動 委 員 会	18
雑 誌 委 員 会	19
会 員 選 考 委 員 会	20
会 員 増 強 委 員 会	21
プ ロ グ ラ ム 委 員 会	22
プログラム予定表	23
広 報 委 員 会	28
ロ ー タ リ ー 情 報 委 員 会	29
ス マ イ ル ボ ッ ク ス 委 員 会	30
S. A. A.	31
職 業 奉 仕 委 員 会	32
国 際 奉 仕 委 員 会	33
ロ ー タ リ ー 財 団 委 員 会	34
社 会 奉 仕 委 員 会	35
青 少 年 奉 仕 委 員 会	36
米 山 奨 学 記 念 委 員 会	37
(別表) (1)大和中ロータリークラブ会員名簿	38
(2)理事・役員・委員会一覧表	40
(3)歴年会務分担表	41
(4)大和中ロータリークラブ慶弔規定	43
(5)大和中ロータリークラブ電話連絡網	44

本年度の運営方針

会長 亀谷 志郎

全人類に愛と善意を

3年目にして、クラブの礎が固まりかけたわけである。ロータリーが人間修業の道場であるとするれば、我々は、20世紀に於いて、善く生きる為の努力をする場に、ロータリーを選びたい。善く生きる事を通じて、勇気を持って、全人類に愛と奉仕を捧げたいものである。

前会長の友愛の精神を引き継ぎ、親睦の輪の上に、今年度の目標に向かって地道に努力したい。

本年度の運営方針の重点

- (1) 全会員の協力による、新会員増強の推進。
- (2) インド支那難民、日中交換学生問題等、激動する世界情勢の中で、人間愛をふまえて、国際親善の実をあげる事。
- (3) ともすれば、緩みがちな気持を引き締めて、例会その他の行事に出席し、且つ、ロータリーの基本概念の勉学に勤める。
- (4) 各人が各職業を通じて、価値体系を認識し、より高度のものとする。
- (5) すべての人々の生命は、平等に、その推移を重々しくすべきである事を、強く認識する事。

幹事 富沢 重徳

過去2年間の実績を教訓として学び、かつロータリー精神に基づきクラブの基礎固めを図ると共に各会員の個性を生かした、明るく楽しいクラブになるように努力したいと思います。

そのために会長を助け、各委員会の活動計画が十分遂行されるよう協力し、全会員と密接に協調しながら、クラブ定款と活動の調和に努め、会の記録、整理、保存、会合の出席記録等幹事としての任務の遂行に努めます。

会 務 報 告

幹 事 富 沢 重 徳
副幹事 辻 国 明

1. クラブの沿革

創 立 昭和 53 年 5 月 9 日
 R. I. 承 認 昭和 53 年 6 月 23 日
 スポンサー-クラブ 大和ロータリークラブ
 特 別 代 表 星 幸 男 氏
 ガ バ ナ ー 細 谷 実 氏
 チャーターメンバー 23 名
 区 域 限 界 大和市全域 (別紙)
 例 会 場 大和市商工会館 3 階会議室
 事 務 所 大和市商工会館 2 階
 電話 (63) 7926

2. 会員の種類

正 会 員 32 名
 アディショナル正会員 0 名
 シニアアクチブ会員 0 名
 名 誉 会 員 0 名

3. 区域内人口、会員数、出席率、ビジター及びゲスト数、会費、入会金一覧表

年 度	人 口	会 員 数 (年度初め)	平均出席率	ビジター及 びゲスト数	入 会 金	会 費
昭和 53 年	159,718	23 名	100%	(含・仮クラブ) 80 名	100,000 円	168,000 円
53年～54年	159,963	22 名	99.76%	484 名	100,000 円	168,000 円
54年～55年	164,748	28 名	98.12%	496 名	100,000 円	168,000 円
55年～56年	167,318	30 名			100,000 円	168,000 円

4. 会 員 状 況

a) 会員名簿一覧表 別表(1)

b) 会員年齢構成

30才台	5名		
40才台	13名	最高	69才
50才台	12名	最少	34才
60才台	2名	平均	48.97才
計	32名		

5. 理事、役員、委員会構成メンバー (別表(2))

6. 理事会、例会及び委員会

毎月第2例会後に定例理事会を開催する他、必要に応じて随時開催する。

例会は毎週木曜日午後12時30分より開催するが、時により変更する。

尚、国の定めた祝祭日及び正月三ケ日は休会とする。

各委員会は、活動打合せのため適時委員会を開催する。

7. クラブアッセンブリー

新 年 度	1 月 中
地 区 大 会 後	I. G. F. 後
ガバナー公式訪問2週間前	年 度 末
ガバナー公式訪問時	

8. ロータリー財団

○当クラブのポールハリス・フェローは

- | | |
|------------|------------|
| 1. 亀 谷 志 郎 | 4. 長谷川 清 一 |
| 2. 寺 田 伍 六 | 5. 芦 田 敬 治 |
| 3. 矢 野 久 元 | |

○準フェローは

- | | |
|------------|----------|
| 1. 藤 田 重 成 | 3. 保 田 達 |
| 2. 辻 国 明 | |

○新入会時13ドル、会員1人当たり3ドルの追加寄付をする。

9. 歴年会務分担表 (別表(3))

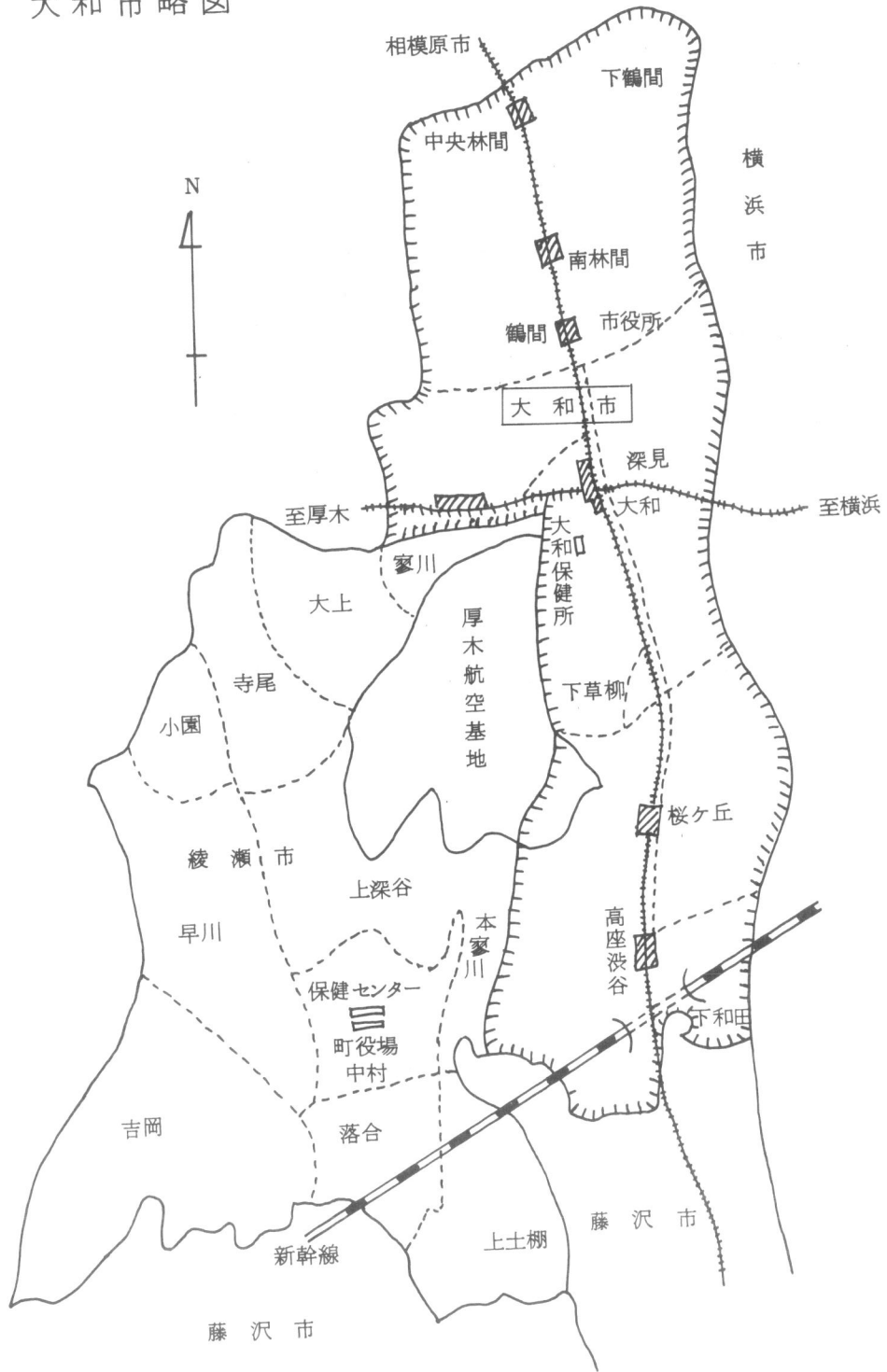
10. 大和中ロータリークラブ慶弔規定 (別表(4))

11. 大和中ロータリークラブ電話連絡網 (別表(5))

12. 歴代会長・幹事名

年 度	会 長 名	幹 事 名
昭和53年	矢 野 久 元	長谷川 清 一
53年～54年	{ 矢 野 久 元 蜂 屋 良 平 }	長谷川 清 一
54年～55年	芦 田 敬 治	北 砂 富 三
55年～56年	亀 谷 志 郎	富 沢 重 徳

大和市略図



会 計

藤 田 重 成

1. 当クラブの入会金は10万円とし、入会承認と同時に納入しなければならない。
2. 当クラブの会費は年額16万8千円とし、年2回に分け（7月1日、1月1日）8万4千円宛納入しなければならない。
但し例会の食事代はこの中に含まれる。

1980～1981年度一般、奉仕会計予算表

(昭和55年7月1日～昭和56年6月30日)

科		目	本年度予算	科		目	本年度予算				
一 般 会 計	収入の部	年会費	5,712,000	奉 仕 会 計	収入の部	スマイル	900,000				
		入会費	800,000			バザール					
		ビジター会費	387,000			チャリティー					
		雑収入	10,000			前年度繰越金	66,269				
		前年度繰越金	744,560			収入の部合計	966,269				
	収入の部合計			7,653,560							
	支 出 の 部	支 出 の 部	例会費	2,492,000	支 出 の 部	計	社会奉仕	300,000			
			事務局給与	840,000			青少年奉仕	150,000			
			交際費	50,000			社会奉仕合計	450,000			
			贈答費	70,000			職業奉仕	50,000			
			通信費	30,000			国際奉仕	200,000			
			印刷費	160,000			スマイル記念品代	200,000			
			文具費	190,000			予備費	66,269			
			備品費	30,000			支出の部合計	966,269			
			会長幹事会費	150,000							
クラブ協議会費			100,000								
慶弔費			100,000								
賃借料			670,000								
雑費			50,000								
クラブ運営費合計			4,962,000								
会 部			支 出 の 部	親睦活動			170,000				
	出席席	30,000									
	雑誌	120,000									
	会報	650,000									
	会員拡大	10,000									
	広報	10,000									
	プログラム	200,000									
	ロータリー情報	80,000									
	クラブ奉仕合計			1,270,000							
	支 出 の 部	支 出 の 部		地区資金	357,000						
地区大会分担金			200,000								
地区協議会費			91,000								
I.G.F 負担金			76,000								
地区費合計			724,000								
支 出 の 部	支 出 の 部	R.I 人頭分担金	128,000								
		R.I 奨学資金	68,000								
		R.I ロータリー財団寄附	23,000								
		R.I 入会時13ドル寄附	26,000								
		R.I 負担金合計			245,000						
予備費			452,560								
支出の部合計			7,653,560								

ク ラ ブ 奉 仕

担当理事 伊 藤 正 男

ロータリークラブ奉仕活動の原動力はクラブ奉仕であることを認識し、会長の補佐に心がけ、会長の本年度の方針である「全人類に愛と善意を」に沿って、クラブ奉仕活動の充実を図るよう努力する。

(1) 委員会相互の連繫を図り、各委員会が円滑に運営できるよう努め、ロータリークラブ奉仕活動が強力に推進できるよう努力する。

(例) 1) 出席委員会、親睦委員会、情報委員会およびプログラム委員会、スマイルボックス委員会の連繫

2) クラブ会報委員会、雑誌委員会、広報委員会、情報委員会の連繫

3) 職業分類委員会、会員選考委員会、会員増強委員会、情報委員会の連繫

4) その他必要と認める場合

(2) 会員の増強を図り、ロータリークラブ奉仕活動が強力に推進できるよう努力する。

出席委員会

委員長 近藤 富士男
副委員長 土屋 翁三
委員 郡司 守

当委員会は、100%出席達成を期する為に次の事を提案します。

1. 欠席者に対し電話等による、メイクアップを依頼。
2. プログラムの内容を予告し出席奨励を計る。
3. 出席報告に工夫をこらす。
4. 1ケ年、ホームクラブ皆出席者及び皆出席者の表彰。
5. 100%出席者氏名

創立以来100%出席者

昭和55年5月8日現在
創立2周年目例会迄

芦田 敬治	藤田 重成	郡司 守	蜂屋 良平
長谷川 清一	猪熊 唯夫	伊藤 英夫	亀谷 志郎
北砂 富三	松本 忠明	大高 安夫	佐藤 実
寺田 伍六	富沢 重徳	土屋 翁三	上田 利久

入会以来100%出席者（上覧記載者は除く）

有沢 昭二	古木 勝治	布施 光雄	石渡 英二郎
伊藤 正男	近藤 富士男	鈴木 久次郎	竹之内 弘美
辻 国明			

職 業 分 類 委 員 会

委 員 長 ① 上 田 利 久

副委員長 ② 竹之内 弘 美

委 員 ③ 石 渡 英二郎

職業分類委員会は、一人一業のロータリーの原則を守り、その人の保有する社会的地位ではなしに事業活動あるいは職業活動など社会への奉仕貢献度によって決定されるべきことを再認識しながら作業を進めたい。

地域社会の実業、専門職業並びに公共団体の活動はたえず流動的であるので随時検討し補充を心掛けて行きたい。

職業分類一覽表

職 業 分 類	現 会 員 名	事 業 所 名
外 科 医	芦 田 敬 治	芦 田 医 院
内 科 医	有 沢 昭 二	大 和 診 療 所
小 児 科 医	上 田 利 久	ウ エ ダ 小 児 科
産 婦 人 科 医		
耳 鼻 科 医		
眼 科 医		
内 科 病 院	亀 谷 志 郎	亀 谷 内 科 病 院
歯 科 医		
医 薬 品 製 造	土 屋 翁 三	サ ン 薬 品 工 業 (株)
医 薬 品 販 売		
男 子 服 製 造 販 売		
男 子 用 品 販 売		
女 子 用 品 販 売		
呉 服 販 売		
乳 製 品 販 売		
洋 菓 子 製 造	松 本 忠 明	(有) チ ロ ル
和 菓 子 製 造		
清 酒 販 売	伊 藤 英 夫	カ ギ サ ン 酒 店
清 涼 飲 料 販 売	鈴 木 久 次 郎	(有) 鈴 久 酒 店
和 風 レ ス ト ラ ン	石 渡 英 二 郎	鮒 忠 大 和 店
寝 具 販 売	猪 熊 唯 夫	(資) イ ノ ク マ 寝 具 店
事 務 用 品 販 売		
時 計 販 売		
貴 金 属 販 売		
ガ ス 器 具 製 造		
商 業 銀 行		

職 業 分 類	現 会 員 名	事 業 所 名
信 用 金 庫	北 砂 富 三	ローリンズ・ヒースジャパン (株)
損 害 保 険		
生 命 保 険		
陸 上 輸 送 業	蜂 屋 良 平	日 本 ト ラ ッ ク (株)
貸 金 庫		
貨物自動車運転台製造	伊 藤 正 男	車 体 工 業 (株)
ガソリン・スタンド		
自 動 車 販 売		
自 動 車 修 理		
自 動 車 電 装 品		
コンピュータシステム	辻 国 明	(株)日本コンピュータユースエイジ
プラスチック工業		
紙 工 業		
ガ ラ ス 製 造		
厚 鋼 板 加 工	佐 藤 実	三 和 建 鉄 (株)
鉄 鋼 工 業		
板 金 打 貫 加 工	郡 司 守	成 興 工 業 (株)
超 硬 金 型 製 造		
鍛 造		
金 属 製 工 具 類		
プレス機械製造	高 山 正 雄	アイダエンジニアリング(株)
鉄 骨 建 築	藤 田 重 成	(有) 藤 田 工 務 店
木 造 建 築	大 高 安 男	(有) 進 栄 建 設
土 木 業	寺 田 伍 六	(株) 寺 田 土 木
木 材 販 売		
建 築 材 料 販 売	中 西 功	(有) 中 西 商 店
建 築 材 料 輸 入	布 施 光 雄	西 友 商 事 (株)
防 水 工 事	木 崎 健 祐	有 明 工 業 (株)

職 業 分 類	現 会 員 名	事 業 所 名
ペ ッ ト 販 売 獣 医 印 刷 業 写 真 機 販 売 幼 稚 園 仏 教 経 営 コ ン サ ル タ ン ト	長 谷 川 清 一	長 谷 川 経 営 コ ン サ ル タ ン ト 事 務 所
税 務 代 理 不 動 産 業 不 動 産 賃 貸 不 動 産 管 理	富 沢 重 徳 近 藤 富 士 男	と み さ わ ビ ル (株) (株) 近 藤 商 事
電 気 供 給 事 業 電 気 工 事 電 気 器 具 販 売 電 器 部 品 製 造 電 子 機 器 部 品 加 工 冷 暖 房 空 調 設 備 お 茶 販 売 家 庭 金 物 販 売 プ ロ パ ン ・ ガ ス 販 売 郵 便 事 業 印 刷 機 械 組 立	竹 本 健 一 竹 之 内 弘 美 保 田 達 松 本 三 郎 古 木 勝 治 後 藤 定 毅	大 和 プ リ ン ト 工 業 (株) (株) 吹 上 製 作 所 (株) ト オ ル 設 備 工 業 (株) 松 本 プ ロ パ ン 中 央 林 間 駅 前 郵 便 局 (株) 藤 工 業 所
充 填 職 業	3 2	
未 充 填 職 業	4 5	

ク ラ ブ 会 報 委 員 会

委 員 長 有 沢 昭 二

副 委 員 長 長 谷 川 清 一

委 員 藤 田 重 成

〔クラブ会報委員会の任務と、編集の方針〕

興味をひきおこして、出席の改善をはかり、近づく例会のプログラムを発表し、前回の例会の重要事項を説明し、親睦を増進し、全会員のロータリー教育に寄与し、そしてクラブや、その会員に関するニュースを報道することがその任務であります。我々の会報もこの目的に沿って、しかも今日までの優れた内容を引きつぎその伝統と名誉をけがすことなく、読み易いよい会報にしたいと思ひます。

〔具体的計画〕

① 正確な伝達性を保つため、又編集上の時間的ロスを除くために、各発言者（会長、幹事、各委員会報告、卓話等）に発言内容の抄録、又はメモを必ず提出して頂くこと。

② 興味ある記事にするため、会報に載せるニュース源として個人的記事をメモ等で提出してもらふ。（会員の協力を頼む）

例 ○ 会員や会員の夫人その家族に関する事等でスマイルで書き足りなかったことなど。

○ 会員やその仲間のこと、会員達に興味がある内容の出来事（スポーツ大会での成績、ゴルフ大会でのエピソード、家族パーティでの楽しかったこと等）

○ 会員又は会員の夫人、その家族の誕生日にまつわる話題 等々。

③ 毎週必ず発行すること。

④ ロータリー情報をなるべく多く載せ、ロータリー知識の向上に役立つようにしたい。

親 睦 活 動 委 員 会

委員長	鈴木久次郎
副委員長	古木勝治
委員	高山正雄
	寺田伍六
	竹本健一
	後藤定毅
	松本三郎

親睦はロータリーの原点であり、又原動力である当委員会の本年度活動目標は前期同様に会員間の相互友好親睦を基礎にして親睦を深めていく。3年目を迎えるにあたり、会員家族の友好をより以上深め友情のきずなをしっかりとむすぶと同時に他クラブとの親睦を図るために次の通り計画します。

家族会を年3回実施

- 1980年10月5日 ワイン工場見学と甲州路
 - 1981年2月22日 観劇と夕食会
 - 1981年5月17日 マザー牧場と房総海岸
 - 1980年12月6日 ニクラブ合同例会
- 会員宅を訪問してご夫人ご家族の方よりロータリーの感想をのべていただき例会又は会報に発表する。
 - S. A. A と相談の上親睦委員を各テーブルに配置し、ゲスト、ビジターのお世話をする。
 - 情報委員と相談の上炉辺会合の回数を増していき全会員が出席できるよう進める。
 - 誕生日、ご夫人誕生日、結婚祝、創業記念、入会記念等に記念品を贈る。
 - その他親睦に必要ながあれば協議の上でとりいれていく。

雑 誌 委 員 会

委員長 佐藤 実

副委員長 石渡 英二郎

委員 大高 安男

雑誌委員会の目的であるロータリーの雑誌を通じてロータリーの理解を深め、ロータリアンとしての教養を高め先ず身近な人々にロータリー意識を持ってもらえるように努力する。

- ① 会員のロータリー誌についての関心度合と興味をもつ記事を知るための調査を行います。
- ② 雑誌委員はロータリー誌の精読に心がけロータリー経験を豊富にするとともに興味ある記事を例会などで発表し読書意欲をそゝるよう心がけます。
- ③ 前年度に引続きロータリーの各種参考資料、雑誌等の収集に務め会員に愛読してもらえるように考えていきます。

以 上

会 員 選 考 委 員 会

委員長 松 本 忠 明

副委員長 竹 本 健 一

委 員 猪 熊 唯 夫

クラブ創立3年目を迎え、当クラブ独特の雰囲気が出来つつあり、新たな会員を選考するに当たり、現在のクラブの雰囲気に融け込める人物を次の事項を選考の条件に充分の調査を行い選考したいと思います。

- 1) 本人の評判が良いか
- 2) 本人の経営又は勤務する事業所の評判は良いか
- 3) 本人の健康状態は良いか
- 4) 本人の出席義務並びにクラブ活動を果すだけの時間的余裕があるか

会 員 増 強 委 員 会

委員 長 寺 田 伍 六

副委員 長 北 砂 富 三

委 員 近 藤 富士男

今年度における、クラブ運営の最重点目標は、会員増強、にありと新会長が指針とされましたが、この増強については前年度においても等しく推進されてきた、重要な課題であります。

然し乍ら、クラブ創立が24名の会員を以て発足されて以来、今日の会員増加が数名のみに停まった残念な結果となっております。

会員増強は最早、我が大和中クラブの急務であり、全会員が拳って御協力下さることをお願い致します。

〔実行施策として〕

- ① 毎月第3例会終了後、全会員出席のもとで情報を交換し、協力活動等を協議する。
- ② 会員3名グループ、を以て2名以上の新会員を得るまで、その活動責任として頑張って頂く。
- ③ 新入会員に対する親切なあり方、を細く注意して炉辺会合等の利用により忌憚ない意見・要望の出し合い等、新旧会員の同化を計る。

プログラム委員会

委員長 郡 司 守

副委員長 古 木 勝 治

委 員 長谷川 清 一

プログラム委員会は、四つの奉仕部門を例証する均衡のとれた例会プログラムを編成するため、本年度50例会を下記表のごとく配分し、ロータリーに関する勉強、又会員相互の親睦を深めることに重点を置いた内容あるプログラムとする。

例会プログラム配分表(50例会)

委 員 会	本年度	前年度	委 員 会	本年度	前年度
会 長 ・ 幹 事	5	5	米 山 記 念 奨 学 会	1	1
ク ラ ブ 協 議 会	3	5	雑 誌	1	1
公 式 訪 問 <small>ガバナー 区分代理</small>	2	2	親 睦 活 動	4	4
職 業 奉 仕	3	2	ロ-タリ-情報 <small>(3分間 情報)</small>	(12)	
社 会 奉 仕	3	2	一 般 卓 話	15	13
国 際 奉 仕	4	4	イ ニ シ エ ィ シ ョ ン	4	8
青 少 年 奉 仕	2	1	合 計	50	50
ク ラ ブ 奉 仕	2	1	例 会 外 協 議 会	3	
ロ-タリ-財 団	1	1	” 炉 辺 会 合		

※一般卓話(会員12名指名)は、自己の企業内容、経営論、業界の話、趣味の話等、得意とする卓話をしていただく。

※指名された担当者が行わない場合は、代りの卓話者を招いていただく。

※プログラムを盛り上げる方法として、例会を会員の企業で行い勉強することも考える。

年間プログラム予定表

月	日	曜日	時間	事項	内容	担当
7	3	木	12:30	例会 就任挨拶	亀谷志郎会長、富沢重徳幹事	
	10	木	12:30 13:30	例会 卓話 理事・役員会	芦田敬治 君他 「シカゴ世界大会に参加して」	
	12	土	18:30	第2回クラブ協議会	「クラブ活動計画について」 於 医療センター	
	17	木	12:30	例会 クラブフォーラム 3分間ロータリー情報	「クラブ奉仕について」	伊藤(正)
	24	木	12:30	例会 ゲストスピーカー	斉藤隆寿 第六分区代理	
	31	木	12:30	例会 ゲストスピーカー	岩宮 浩氏 (地区世界社会奉仕小委員長) 「世界社会奉仕について」	国際
8	7	木	19:00	一泊研修例会	於 箱根湯本「水明荘」	富沢
	14	木	12:30 13:30	例会 イニシエーションスピーチ 理事・役員会	竹本健一 君、後藤定毅 君 松本三郎 君	
	21	木	12:30	例会 ゲストスピーカー 3分間ロータリー情報	大和市役所職員 「大和市に於けるゴミの問題」	社会

月	日	曜日	時間	事項	内容	担当
8	28	木	12:30	例会 卓話	芦田敬治君 「スポーツと健康」	
9	4	木	12:30	例会 ゲストスピーカー	鵜川 昇氏(地区青少年奉仕委員長) 「青少年奉仕について」	青少年
	11	木	12:30	例会 クラブフォーラム 理事・役員会	「青少年奉仕について」	青少年
	18	木	12:30	例会 卓話 3分間ロータリ-情報	辻 国明君 「情報産業について」	
	25	木	12:30	例会 卓話	長谷川清一君 「私の奉仕」	
	27 ↓ 28	土 日		第259地区大会	神奈川県民ホール	
	10	2	木	12:30	例会 卓話	中西 功君 「米山記念奨学会について」
	5	日		第1回家族会	ワイン工場見学と甲州路	
	9	木		5日の家族会に振替		
	16	木	12:30 14:30	例会 第3回クラブ協議会 理事・役員会	「ガバナ-公式訪問に備えて」	
	23	木	12:30	例会 卓話 3分間ロータリ-情報	大高安男君 「私の職業奉仕」	

月	日	曜日	時間	事項	内容	担当
10	30	木	9:30	ガバナ-公式訪問	9:30～ 会長・幹事との懇談 10:30～ 第4回クラブ協議会 12:30～ 例会	
11	6	木	12:30	例会 クラブフォーラム	「国際奉仕について」	国際
	13	木	13:30	例会 ゲストスピーカー 理事・役員会	永野清治氏（大和RC初代会長） 「私が最近考えていること」	蜂屋
	20	木	12:30	例会 ゲストスピーカー 3分間ロータリ-情報	小武徹郎氏（地区財団副委員長） 「ロータリ-財団週間にあたり」	財団
	27	木	12:30	例会 卓話	北砂富三君 「損保に強くなる話」	
12	4	木		6日の大和との合同例会に振替		
	6	土	18:00	大和との合同例会	ホスト：大和クラブ	親睦
	11	木	12:30 13:30	例会 卓話 理事・役員会	芦田敬治君 「職業奉仕について」	職業
	18	木	12:30	例会 クラブフォーラム 見学会	「社会奉仕について」 ゴミ焼却場	社会
	25	木	12:30	例会 3分間ロータリ-情報		竹之内
56年 1	1	木		祝日（元旦）のため休会		
	8	木	12:30 13:30	例会 挨拶 理事・役員会	亀谷会長、富沢幹事	

月	日	曜日	時間	事項	内容	担当
1	10	土	18:30	第5回クラブ協議会	「半年を終了して」	
	15	木		祝日(成人の日)のため休会		
	22	木	12:30	例会 卓話 3分間ロータリー情報	高山正雄君	
	29	木	12:30	例会 ゲストスピーカー	道徳科学研究所 「モラロジー」	猪熊
2	5	木	12:30	例会 クラブフォーラム	「後半のクラブ奉仕委員会活動」	伊藤(正)
	12	木	12:30	例会 卓話	上田利久君 「国際伝染病の概説」	
			13:30	理事・役員会		
	19	木	12:30	例会 ゲストスピーカー 3分間ロータリー情報	中国留学生 「漢詩の解説から現代文まで」	国際
	22	日		第2回家族会	観劇と夕食会	親睦
	26	木		22日の家族会に振替		
3	5	木	12:30	例会 ゲストスピーカー	大和定住センター 「インドシナ定住者の声」	国際
	12	木	12:30	例会 ゲストスピーカー	中国留学生 「留学生生活を終えて 帰国の挨拶」	土屋
			13:30	理事・役員会		
	19	木	12:30	例会 インジェクションスピーチ 3分間ロータリー情報		
	21	土		第6分区分I.G.F.	ホスト：相模原	

月	日	曜日	時間	事項	内容	担当
3	26	木	12:30	例会 第6回クラブ協議会	「I. G. F. を終えて」	
4	2	木	12:30	例会 ゲストスピーカー	大和市役所職員 「環境衛生について」	社会
	9	木	12:30 13:30	例会 クラブフォーラム 理事・役員会	「職業奉仕について」	職業
	16	木	12:30	例会 会員企業見学会 3分間ロータリー情報	於 車体工業(株)	伊藤(正)
	23	木	12:30	例会 卓話	佐藤 実君 「雑誌週間にあたり」	雑誌
	30	木	12:30	例会 インジェイションスピーチ		
5	7	木	12:30	例会 卓話	蜂屋良平元会長 「クラブ創立記念日にあたり」	
	14	木	12:30 13:30	例会 理事・役員会		
	17	日		第3回家族会	マザー牧場と房総海岸	親睦
	21	木		17日の家族会に振替		
	28	木	12:30	例会 ゲストスピーカー	星 幸男氏 (特別代表)	郡司
6	4	木	12:30	例会		
	11	木	12:30 13:30	例会 卓話 理事・役員会	伊藤正男君 「次年度会長運営方針」	保田
	18	木	18:30	例会 第7回クラブ協議会	「本年度を顧みて」 「次年度活動について」	
	25	木	12:30	例会 挨拶	亀谷会長、富沢幹事 「1年を顧みて」	

広 報 委 員 会

委員 長 石 渡 英二郎

副委員 長 木 崎 健 祐

広報委員会の活動任務は、当クラブの健全なる発展と地域社会にロータリークラブを、又その活動状況を理解していただくための密接なる結び付きを主たる目標として本年度の方針をつぎの通り定める。

1. ロータリークラブ活動の総合的效果を地域社会に印象づけるためには会員各自の広報意識を高めることが先ず大切である。
2. 前年度委員長の方針を受継ぎ、外部への伝達手段として広報やまとを扱う市役所広報課等に積極的に協力し、活用して行きたい。
3. 会員の職業上及び個人的なあらゆる機会を利用して、ロータリークラブの目的及び業績を地域社会に知らせるよう努力していただく。
4. 対外的活動のみでなくクラブ内の親睦及び会員の家庭の協力を得るため、各種の重要な情報等をその所属する委員ともよく連絡をとりながら内部伝達を重点的に行い、広報活動をして行きたい。
5. 会員増強委員会その他の委員とも緊密な連絡及び協力をいただき、未充填職業である宗教・金融・教育・報道関係者の加入促進のPRに努力する。

ロータリー情報委員会

委員長 ① 伊藤英夫

副委員長 ② 蜂屋良平

委員 ③ 芦田敬治

今年度の活動方針は、会員に定款・細則の理解徹底を図るとともに、ロータリーの歴史、綱領、活動等についての情報を提供し、全会員がロータリアンとしての基礎知識を身につけられるよう努めたい。又各種の文献を利用して会員相互の討論を通じてロータリーに関する知識の向上に勉めることを目的とする。具体的には下記事項に特に重点をおいて実施する。

- (1) 会員候補者に対しては、会員の特典と責務に関する説明は特に十分な配慮をもって理解し易いように工夫する。
- (2) 新会員は例会の前後の時間を利用して随時教育を実施する。
- (3) 炉辺会談を多用して新会員を速やかに同化すると同時に、ロータリーの理解・知識の向上を図る。
- (4) 例会に於ける3分間情報の徹底。
- (5) クラブ会報を利用して各種のロータリー情報を提供する。
- (6) 関連委員会と緊密な連絡を保って、各委員会の活動を調整、活発化する。

以上

スマイルボックス委員会

委員長 保田 達

副委員長 布施 光雄

委員 郡 司 守

1. スマイルボックス委員会は、会員の善意により拠出された「奉仕への拠出金」を管理すると共に、会員にスマイルボックスの認識と理解を深める為の P. R に努めます。
2. 会員の御協力を得ながら、友情に満ちた情報を収集させていただき、あらゆる機会に、会員の自主的判断による篤志活動の基調が拡大されるため努力をします。

S. A. A.

S. A. A. 北 砂 富 三

副 S.A.A. 芦 田 敬 治

ロータリー活動の基本は例会への出席にあると思いますが、例会がスムーズに且愉快地進行して、会員が例会に出席するのが楽しい、という雰囲気作りをするのが使命であると考えます。

今年度は会長の方針にそって、食事中は大いに歓談して親睦を深め、スピーチの時には品位ある態度を以てスピーカーへのエチケットを守って戴くよう、けじめのある明るい例会運営に努めることを根本方針とし度いと思ひます。

- (1) 例会の司会を明るく愉快地務めていき度い。
- (2) 食事については、予算或は季節を勘案しながら時には簡素に、時には少しく華饌なもの等バラエティーに富んだ食事を考える。
- (3) テーブルのネームカードに現在の職業分類の他に、担当委員会を併記して、ピジターとの歓談を活発にするよう配慮すると同時に、会員相互も年齢、職業別、地域別、新会員と推薦者等座席の配置に工夫をこらし度い。
- (4) 早退、遅刻については、会員に節度ある行動を求める一方、SAAとしては画一的でなく柔軟な考え方をもちて処理していくよう留意する。

職 業 奉 仕 委 員 会

委員長 大 高 安 男

副委員長 石 渡 英二郎

委 員 芦 田 敬 治

綱領第2項及び職業分類から生ずる義務の重さを、改めて見直し諸先輩の歩んだ素晴しきロータリーの道に一步でも近づく努力と当委員会に与えられた使命を、全うする為に関連委員会の協力をお願い次の活動方針を推進する様、努力致します。

1. 地域社会に奉仕の理想の伝達方法として四つのテストを利用し、対人関係を改善する様な、啓蒙運動を行う。
方法として 同業組合、学校、市の諸機関等を利用して出来るだけ多くの人々の目に、四つのテストを披歴する。
2. 青少年の職業撰択を援助する活動としてクラブ会員が各自の職業知識を提供し、職業が物質的所得の手段であるばかりでなく社会に対し奉仕を実行する機会である事を啓蒙すると同時に、ロータリー書棚に職業に関する書籍資料等を設置する。
3. 職業奉仕論に就いては、前任者の秀れた理論を引継ぎより深く研究すると共に、四つのテストの職場に於ける活用方法の事例研究、及び専門職業の水準向上等、フォーラム、炉辺会合等を通じて研究する。

国際奉仕委員会

委員長 上田利久

副委員長 保田達

委員 蜂屋良平

奉仕の理想に結ばれた企業職業人の集りである。

その親睦の力を持って世界的な理解と善意が少しでも進むようクラブ会員皆でそれぞれの事例に対応し考え糸口をつかむようにして行きたい。具体的には次の3つの柱にそって活動を進めて行きたいので、ご協力をお願いする次第である。

A 中国留学生との交流

- ① 日本紹介 小旅行 (8月)
- ② 現代日本農業の見学 (10月)
- ③ 中国研究 漢詩の解説から現代文まで(中国留学生代表 '81, 2月19日卓話)
- ④ 中国留学生の日本で学び得たもの, そして日本への提言(中国留学生代表 '81, 3月上旬 卓話)
- ⑤ 中国留学生 送別ハトバス東京観光('81, 3月上旬)

B 世界社会奉仕計画研究 (準備委員会の発足)

- ① 世界社会奉仕 地区委員長を招いて事例についての勉強(7月31日卓話)
- ② R. I. の資料室に対し情報要請を行い紹介された事例について協議し、具体的活動の可能性について検討する。(11月6日クラブフォーラム又は炉辺会合)

C インドシナ定住者への支援

- ① 日本語教育についてのお手伝い
- ② 会員内企業での雇用促進
- ③ インドシナ定住者の声(81, 3月5日卓話)
- ④ 定期的健康相談の有用性について
- ⑤ 日用必需品の支援

ロータリー財団委員会

委員長 布施光雄

副委員長 藤田重成

委員 北砂富三

1. ロータリー財団は、博愛的、慈善的、教育的、救恤的諸分野にわたり国際的な活動を続けておりますことへの理解を高めることに努力します。
2. ロータリー財団の目的に協力するためにクラブ活動のあらゆる機会を通じ、一人でも多くの拠出者実現に努めますので惜しみないご理解とご協力をお願いする次第です。

社 会 奉 仕 委 員 会

委員 長 猪 熊 唯 夫

副委員 長 辻 国 明

委 員 竹之内 弘 美

1. 大和中ロータリークラブ全会員で社会福祉、都市安全について前年度委員会の継続事項を実行し更に積極的社会奉仕に取り組んでいきたい。

(本年度は我々が最も身近な大事な問題の一つにゴミの問題を取上げ、「大和市におけるゴミ」と言う卓話を設定し、又昨年に引続きゴミ袋の寄贈をしたい。又ゴミ集積場所に集積場所表示板を寄贈したい。)

2. 大和市福祉の日には、当委員会が全員参画し社会福祉の実践に務める。

(各事業を行うに当り、全会員の労力奉仕をお願いする。)

3. 当クラブ全会員が地域社会に対して行う、「価値ある善意の提供」への自力行動の推進を行う。

(必要とする施設に対し中古衣料(シャツ,ズボン)を提供したい。出来れば国際奉仕委員会とも協力し、之を推進したい。

又市教育委員会、施設課に対し青少年健全化推進の為、スベリ台及び植樹の寄贈をしたい。)

青少年奉仕委員会

委員長 ① 土屋 翁 三

副委員長 ② 近 藤 富士男

委 員 ③ 中 西 功

青少年問題は各市町村で健全な青少年育成へと積極的に取り組んでいます。が、当地域に於ても種々の面でその目的がなかなか達成できない現状にあります。当委員会の任務は (イ)、ローターアクトへの助成。(ロ)、地域青少年団体への助成。(ハ)、その他地域全般に亘る青少年問題との取り組みであるとされておりますが、(イ)については大和 R C の要請があれば協力することとし、今年度の活動の重点を地域青少年団体への助成に置き、次の目標が達成されるよう努力したい。

1. ロータリアンとしてその行動が次代を背負う青少年のために役立つよう、クラブ員に啓蒙し、そのためのプログラムを組む。
2. 地域青少年団体の調査及び報告。
3. 健全な青少年育成を目的とした団体に対する助成。

米山記念奨学委員会

委員長 中西 功

副委員長 寺田 伍六

1. 日本ロータリー創始の功績をたたえて設けられた「米山記念奨学会」の主旨の徹底を図る。
2. 基本の寄附金の拠出はもとより、時に応じて寄附金の応募をうながしたい。
3. 米山功労者及び準米山功労者の推挙
4. 偉大なロータリアン米山梅吉翁の足跡をたどり、その記念の意義を啓蒙したい。

大和中ロータリークラブ会員名簿

	氏名	生年月日 入会年月日	職業分類	事業所名	職名
A	有沢昭二	S 2. 6. 11 S 54. 3. 22	内科医	大和診療所	院長
	芦田敬治	S 2. 12. 12 S 53. 6. 23	外科医	芦田医院	院長
F	藤田重成	T 10. 5. 15 S 53. 6. 23	鉄骨建築	(有)藤田工務店	代表取締役
	古木勝治	S 11. 8. 2 S 54. 10. 18	郵便事業	中央林間駅前郵便局	局長
	布施光雄	S 7. 11. 23 S 54. 5. 10	建築材料輸入	西友商事(株)	代表取締役
G	後藤定毅	S 18. 6. 11 S 55. 7. 10	印刷機械組立	(有)藤工業所	代表取締役
	郡司守	S 8. 7. 24 S 53. 6. 23	板金打貫加工	成興工業(株)	取締役社長
H	蜂屋良平	T 4. 11. 10 S 53. 6. 23	陸上輸送業	日本トラック(株)	代表取締役
	長谷川清一	T 14. 7. 12 S 53. 6. 23	経営コンサルタント	長谷川経営コンサルタント事務所	所長
I	猪熊唯夫	T 14. 9. 12 S 53. 6. 23	寝具販売	(有)イノクマ寝具店	代表社員
	石渡英二郎	T 10. 2. 6 S 54. 1. 18	和風レストラン	鮎忠大和店	代表取締役
	伊藤英夫	S 13. 3. 18 S 53. 6. 23	清酒販売	カギサン酒店	店主
	伊藤正男	M 44. 6. 15 S 54. 5. 10	貨物自動車運搬台製造	車体工業(株)	取締役社長
K	亀谷志郎	T 11. 12. 14 S 53. 6. 23	内科病院	亀谷内科病院	院長
	北砂富三	S 7. 7. 20 S 53. 6. 23	損害保険	ローリンズヒースジャパン(株)	支店長
	木崎健祐	S 9. 7. 2 S 54. 2. 22	防水工事	有明工業(株)	代表取締役
	近藤富士男	S 14. 1. 1 S 53. 12. 14	不動産管理	(株)近藤商事	代表取締役
M	松本三郎	S 14. 9. 3 S 55. 7. 31	プロパンガス販売	(有)松本プロパン	代表取締役
	松本忠明	S 10. 7. 28 S 53. 6. 23	洋菓子製造	(有)チロル	代表取締役
N	中西功	S 20. 2. 7 S 53. 8. 17	建築材料販売	(有)中西商店	専務取締役
O	大高安男	S 4. 10. 20 S 53. 6. 23	木造建築	(有)進栄建設	代表取締役
	佐藤実	T 13. 2. 20 S 53. 6. 23	厚鋼板加工	三和建鉄(株)	専務取締役
S	鈴木久次郎	S 8. 1. 21 S 53. 12. 7	清涼飲料販売	(有)鈴久酒店	代表取締役
	高山正雄	S 9. 4. 12 S 54. 10. 25	プレス機械製造	アイダエンジニアリング(株)	取締役 営業部長
	竹本健一	S 21. 3. 17 S 54. 12. 6	電器部品製造	大和プリント工業(株)	専務取締役
	竹之内弘美	S 17. 2. 22 S 54. 4. 12	電子機器部品加工	(有)吹上製作所	代表取締役
	寺田伍六	S 10. 6. 14 S 53. 6. 23	土木業	(株)寺田土木	代表取締役
	富沢重徳	S 14. 4. 8 S 53. 6. 23	不動産賃貸	とみざわビル(株)	専務取締役
	土屋翁三	S 16. 5. 9 S 53. 6. 23	医薬品製造	サン薬品工業(株)	専務取締役
T	辻国明	S 9. 2. 11 S 53. 7. 27	コンピューターシステム	(株)日本コンピューターユーセイジ	代表取締役
	上田利久	S 4. 1. 23 S 53. 6. 23	小児科医	ウエダ小児科	院長
Y	保田達	S 6. 12. 8 S 54. 4. 12	冷暖房空調設備	(株)トオル設備工業	代表取締役

別表(1)

事業所所在地	電 話	自 宅 住 所	電 話	〒
大和市中心林間1-17-9	(74)4315	東京都杉並区下高井戸5-7-20	03(303)7761	168
〃 南林間4-6-7	(74)0906	大和市南林間4-6-7	(74)0906	242
〃 南林間1-5-15	(74)3931	〃 南林間1-5-15	(74)3931	242
〃 中央林間3-10-15	(74)4213	〃 下鶴間67	(74)7632	242
〃 桜森2-11-6	(63)6051	〃 桜森2-11-13	(63)0391	242
〃 桜森2-11-6 西友ビル内	(63)1166	厚木市戸田1086	0462(21)2157	243
〃 深見791	(61)7337	横浜市旭区騎が原145	045(363)5118	241
〃 福田4766-1	(69)2002	〃 鶴見区北寺尾1-13-13	045(581)0692	230
〃 上草柳3-16-7	(61)3741	大和市上草柳3-16-7	(61)3741	242
〃 大和東3-1-20	(61)0653	〃 大和東3-1-20	(61)0672	242
〃 大和東3-1-1	(61)0310	〃 大和東3-3-1	(61)2613	242
〃 下鶴間3144	(61)3667	〃 鶴間3144	(63)3000	242
〃 下鶴間3050-1	(61)3111	東京都大田区上池台4-37-8	03(729)6235	145
〃 中央林間4-25-17	(73)0430	大和市中心林間4-25-17	(75)5451	242
相模原市南台1-18-1	0427(46)1810	〃 南林間5-2-16	(74)1230	242
大和市林間2-17-1	(74)3522	相模原市東林間3-11-8	0427(45)2560	228
〃 中央2-3-1	(61)5545	大和市中心2-2-15	(61)6836	242
〃 大和東3-15-4	(61)0660	〃 大和東3-15-4	(61)8252	242
〃 大和南1-5-11	(61)6573	横浜市瀬谷区瀬谷町615-1	045(301)5206	246
〃 鶴間2-14-5	(74)9765	大和市鶴間2-14-5	(74)4655	242
〃 中央林間2-13-15	(74)3123	〃 中央林間2-13-15	(74)3123	242
〃 深見554	(61)2410	〃 南林間6-3-2	(74)4367	242
〃 南林間6-11-15	(74)8768	〃 南林間6-11-15	(75)0214	242
相模原市大山町2-10	0427(72)5231	〃 南林間6-8-17	(74)0779	242
大和市下和田2	(67)4048	〃 下和田916	(67)1444	242
〃 下鶴間2757-1	(61)2616	〃 つきみ野5-12-6	(75)2120	242
〃 上草柳395	(61)1294	〃 下鶴間3442	(61)1297	242
〃 深見3382	(61)8175	〃 大和南2-4-20	(62)0744	242
〃 深見784	(61)3714	〃 下鶴間3653	(75)3225	242
東京都港区芝公園2-10-2	03(434)6571 044(434)1331	〃 南林間5-7-27	(74)2983	242
大和市林間2-17-6	(74)6240	〃 林間2-17-6	(75)1540	242
〃 下和田1243	(67)6731	相模原市陽光台1-12-6	0427(58)2222	229

理事・役員・委員会一覧表

別表 (2)

理 事	亀 谷 志 郎 伊 藤 正 男 上 田 利 久 大 高 安 男 猪 熊 唯 夫 土 屋 翁 三 芦 田 敬 治	役 員	会 長 亀 谷 志 郎 副会長 伊 藤 正 男 幹 事 富 沢 重 徳 副幹事 辻 国 明 S.A.A 北 砂 富 三 会 計 藤 田 重 成
-----	---	-----	--

委 員 会

クラブ奉仕	担当理事 伊 藤 正 男			副 S.A.A	芦 田 敬 治		
	委員長	副委員長	委 員	国際奉仕	担当理事 上 田 利 久		
出席委員会	近藤富士男	土屋 翁三	郡司 守		上 田 利 久	保 田 達	蜂 屋 良 平
職業分類 委員会	①上 田 利 久	②竹之内弘美	③石渡英二郎	ロータリー財団 委員会	布施 光雄	藤 田 重 成	北 砂 富 三
クラブ会報 委員会	有 沢 昭 二	長谷川清一	藤 田 重 成	米山記念奨 学委員会	中 西 功	寺 田 伍 六	
親睦活動 委員会	鈴木久次郎	古 木 勝 治	高山 正雄 寺田 伍六 竹本 健一 後藤 定毅 松本 三郎	職業奉仕	担当理事 大 高 安 男		
雑誌委員会	佐 藤 実	石渡英二郎	大 高 安 男		大 高 安 男	石 渡 英 二 郎	芦 田 敬 治
会員選考 委員会	松本 忠明	竹本 健一	猪 熊 唯 夫				
会員増強 委員会	寺 田 伍 六	北 砂 富 三	近 藤 富 士 男	社会奉仕	担当理事 猪 熊 唯 夫		
プログラム 委員会	郡 司 守	古 木 勝 治	長 谷 川 清 一		猪 熊 唯 夫	辻 国 明	竹之内弘美
広報委員会	石渡英二郎	木 崎 健 祐					
ロータリー情報 委員会	①伊 藤 英 夫	②蜂 屋 良 平	③芦 田 敬 治	青少年奉仕	担当理事 土 屋 翁 三		
スマイルボックス 委員会	保 田 達	布 施 光 雄	郡 司 守		① 土 屋 翁 三	② 近 藤 富 士 男	③ 中 西 功

歴年会務分担表

別表 (3)

◎委員長
○副委員長
△委員

	会 員 名	入会年月日	(53年) 1978～1979	(54年) 1979～1980	(55年) 1980～1981
1	芦 田 敬 治	S.53年 6月23日	(理事) ◎職業奉仕 ○社会奉仕 ○会員増強	(理事) 会長	(理事) 副 S.A.A. △ロータリー情報 △職業奉仕
2	淡 谷 光 彦	"	(理事) ◎ロータリー-財 団		
3	藤 田 重 成	"	◎広報 ○ロータリー-情報	◎ロータリー-情報 △ロータリー-財団	会 計 ○ロータリー-財団 △クラブ会報
4	郡 司 守	"	◎会員増強 ○クラブ会報	(理事) ◎国際奉仕 △クラブ会報	◎プログラム △出 席
5	蜂 屋 良 平	"	(理事)副会長・会長	(理事)	○ロータリー-情報 △国際奉仕
6	長谷川 清 一	"	幹事	△国際奉仕 S.A.A.◎ロータリー-財団	○クラブ会報 △プログラム
7	猪 熊 唯 夫	"	◎親睦活動 ○職業分類	◎職業分類 △スマイル	(理事)◎社会奉仕 △会員選考
8	伊 藤 英 夫	"	◎出席 △ロータリー-情報 ○青少年奉仕	(理事) ◎青少年奉仕 ○ロータリー-情報	◎ロータリー-情報
9	亀 谷 志 郎	"	◎職業分類 ○会員選考	(理事) ◎社会奉仕 △会員選考	(理事) 会 長
10	北 砂 富 三	"	◎ロータリー-情報 ○国際奉仕	幹 事	S.A.A. ○会員増強 △ロータリー-財団
11	小 菅 兼三郎	"	◎スマイルボックス ○雑誌		
12	松 本 忠 明	"	◎米山奨学 ◎75年 ○親睦活動◎スマイル	◎75周年 ○出席 △国際奉仕	◎会員選考
13	宮之原 寛 一	"	会計 ○ロータリー-財団		
14	小笠原 一 四	"	(理事) ◎社会奉仕		
15	大 高 安 男	"	◎プログラム ○広報	◎出席 ○75周年	(理事) 職業奉仕 △雑 誌
16	佐 藤 実	"	(理事) ◎国際奉仕	(理事) 副会長	◎雑 誌
17	須 藤 正 道	"	(理事)◎青少年奉仕		
18	寺 田 伍 六	"	◎会員選考 ○職業奉仕	(理事) ◎職業奉仕 △会員増強 △75周年	◎会員増強 △親睦活動
19	富 沢 重 徳	"	S.A.A. ○出席	副幹事 ◎会員選考 副S.A.A. △出席	幹 事

	会 員 名	入会年月日	(53年) 1978~1979	(54年) 1979~1980	(55年) 1980~1981
20	土 屋 翁 三	S.53年6月23日	◎クラブ会報 ○プログラム △青少年奉仕	◎プログラム ○国際奉仕 ○青少年奉仕	(理事)青少年奉仕 ○出席
21	上 田 利 久	"	◎雑 誌 △職業分類	◎クラブ会報 ○職業分類	(理事)国際奉仕 ◎職業分類
22	矢 野 久 元	"	(理事) 会 長		
23	辻 国 明	S.53年7月27日	△親睦活動	会 計 ◎スマイル ○広報	副幹事 ○社会奉仕
24	袴 田 和 雄	S.53年8月10日	△親睦活動	○プログラム △職業分類	
25	中 西 功	S.53年8月17日	△親睦活動	◎親睦活動 ○会員 増強 ○社会奉仕	◎米山奨学 ○青少年奉仕
26	鈴 木 久 次 郎	S.53年12月7日	△親睦活動	◎雑 誌 ○ロータリー財団	◎親睦活動
27	近 藤 富 士 男	S.53年12月14日	△親睦活動	○会員選考 △青少年奉仕	◎出席 △会員増強 ○青少年奉仕
28	石 渡 英 二 郎	S.54年1月18日	△親睦活動	○スマイル △職業奉仕	◎広報 ○雑誌 ○職業奉仕 △職業分類
29	木 崎 健 祐	S.54年2月22日	△親睦活動	◎会員増強 △親睦活動	○広 報
30	有 沢 昭 二	S.54年3月22日	△親睦活動	◎米山奨学 ○職業 奉仕 △国際奉仕	◎クラブ会報
31	山 田 旭	S.54年4月5日	△親睦活動		
32	保 田 達	S.54年4月12日	△親睦活動	◎広報 ○親睦活動 △プログラム △75周年	◎スマイル ○国際奉仕
33	竹之内 弘 美	"	△親睦活動	○クラブ会報 ○米山奨学	○職業分類 △社会奉仕
34	伊 藤 正 男	S.54年5月10日	△親睦活動	○雑 誌 △米山奨学	(理事)副会長
35	布 施 光 雄	"	△親睦活動	△親睦活動	◎ロータリー財団 ○スマイル
36	古 木 勝 治	S.54年10月18日		△親睦活動	○親睦活動 ○プログラム
37	高 山 正 雄	S.54年10月25日		△親睦活動	△親睦活動
38	竹 本 健 一	S.54年12月6日		△親睦活動	○会員選考 △親睦活動
39	後 藤 定 毅	S.55年7月10日			△親睦活動
40	松 本 三 郎	S.55年7月31日			△親睦活動

大和中ロータリークラブ慶弔規定

別表(4)

第 1 条 当クラブにおける慶祝金、弔慰金または見舞金の支出についてはこの内規の定めるところによる。

第 2 条 慶事の祝金は次の区分とする。

- | | |
|----------------------|---------|
| 1. 本人及びその一等親家族の結婚の場合 | 10,000円 |
| 2. 子出生の祝金 | 5,000円 |

第 3 条 弔事の場合の弔慰金は次の区分とする。

- | | | |
|--------------------|--------|---------|
| 1. 本人死亡の場合 | 会員1人拠金 | 10,000円 |
| 2. 死亡の場合 | 会員1人拠金 | 5,000円 |
| 3. 上記以外の一等親家族死亡の場合 | | 5,000円 |

第 4 条 負傷または罹病および罹災の場合の見舞金は次の区分とする。

- | | | |
|-------------------------|---------|---------|
| 1. 負傷または病気により欠席1ヶ月以上の場合 | 10,000円 | |
| 2. 火災及び風水害によって被害を受けた場合 | | |
| A 自 宅 | 会員1人拠金 | 2,000円 |
| B 会社、工場、店舗など | | 10,000円 |

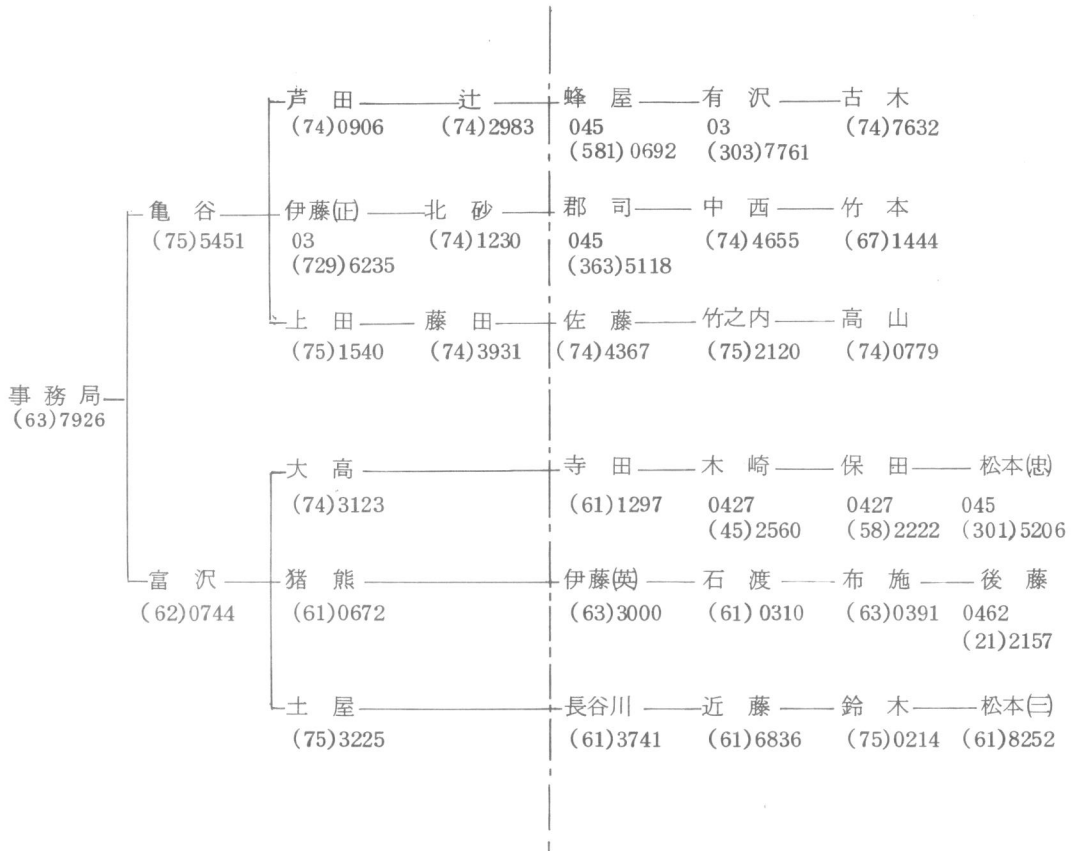
第 5 条 上記以外に必要と認めた場合は理事会の決定による。

第 6 条 上記慶弔見舞金に対する返礼は行わない事とする。

(昭和53年8月10日施行)

大和中ロータリークラブ電話連絡網

別表 (5)



(註)

1. 内容を確認して、正確・迅速に伝える。
2. 最後の人は連絡受領の報告を各自の最初の人に（受けた内容も含めて）連絡して下さい。
3. 番号は自宅のものです。勤務先は会員名簿にて参照。